

5 「平成4年度生まれの者」と「昭和37年度生まれの者」の年間発育量の比較

平成22年度調査で17歳の「平成4年度生まれの者」と、30年前の昭和55年度調査で17歳の「昭和37年度生まれの者」（親の世代）の6歳から17歳までの各年齢間における身長、体重の年間発育量等について比較すると、図11～14と表9のとおりになります。

(1) 身長

身長の年間発育量について「平成4年度生まれの者」と「昭和37年度生まれの者」とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成4年度生まれの者」が12歳～13歳（同7.3cm）、「昭和37年度生まれの者」も12歳～13歳（年間発育量7.8cm）になっています。女子は、「平成4年度生まれの者」は10歳～11歳（同7.1cm）、「昭和37年度生まれの者」が10歳～11歳（同8.0cm）になっています。

図11 平成4年度生まれの者と昭和37年度生まれの者の年間発育量（身長・男子）

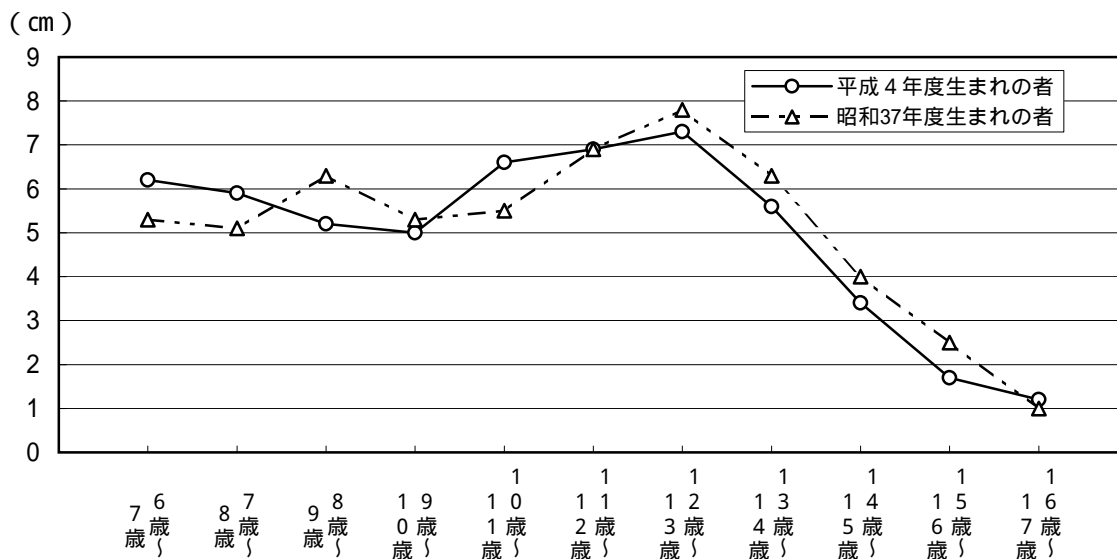
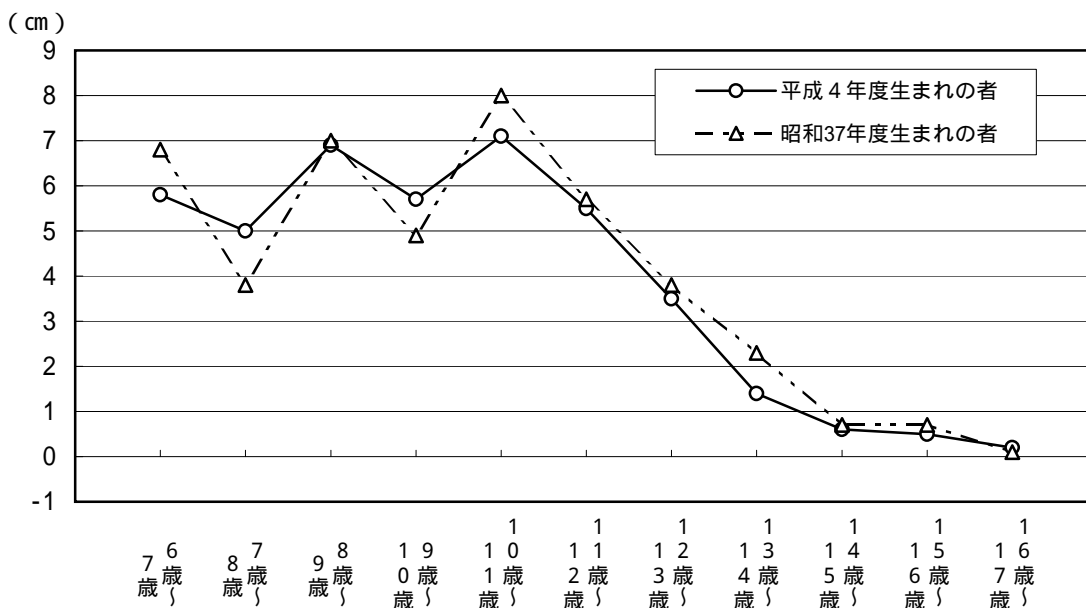


図12 平成4年度生まれの者と昭和37年度生まれの者の年間発育量（身長・女子）



(2) 体 重

体重の年間発育量について「平成4年度生まれの者」と「昭和37年度生まれの者」とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成4年度生まれの者」が12歳～13歳（年間発育量5.3kg）、「昭和37年度生まれの者」は12歳～13歳（同6.1kg）になっています。女子では、「平成4年度生まれの者」が11歳～12歳（同4.9kg）、「昭和37年度生まれの者」は11歳～12歳（同5.4kg）になっています。

図13 平成4年度生まれの者と昭和37年度生まれの者の年間発育量(体重・男子)

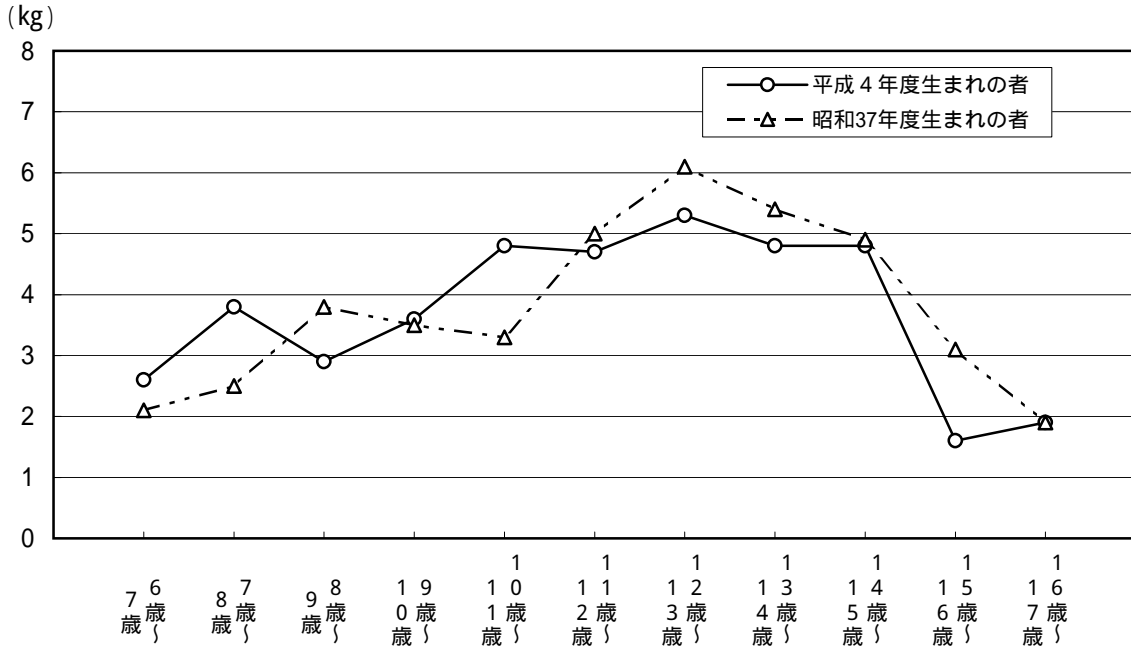
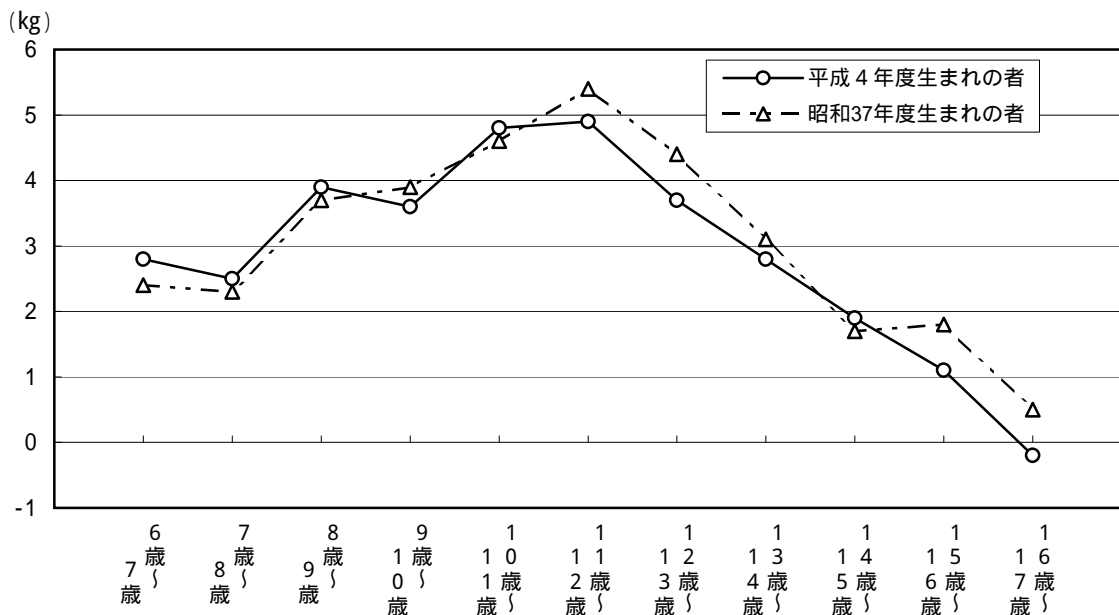


図14 平成4年度生まれの者と昭和37年度生まれの者の年間発育量(体重・女子)



(3) 11年間(小1～高3)の総発育量の比較

身長が発育量を小学校の時期(6歳から12歳までの時期)と中学校・高等学校の時期(12歳から17歳までの時期)とに分けてみると、男子では、小学校の時期は「平成4年度生まれの者」が35.8cm、「昭和37年度生まれの者」は34.4cmで、「平成4年度生まれの者」の方が大きくなっていますが、中学校・高等学校の時期は「平成4年度生まれの者」が19.2cm、「昭和37年度生まれの者」は21.6cmで、逆に「昭和37年度生まれの者」の方が大きくなっています。女子では、小学校の時期は「昭和37年度生まれの者」の方が大きく、中学校・高等学校の時期も「昭和37年度生まれの者」の方が大きくなっています。

なお、「平成4年度生まれの者」の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「昭和37年度生まれの者」よりも男子は1.0cm、女子は1.6cmそれぞれ小さくなっています。

また、同様に体重の発育量を小学校の時期と中学校・高等学校の時期とに分けてみると、男女とも、小学校の時期は「平成4年度生まれの者」の方が大きく、中学校・高等学校の時期は「昭和37年度生まれの者」の方が大きくなっています。

なお、「平成4年度生まれの者」の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「昭和37年度生まれの者」よりも男子は0.8kg、女子は2.0kg小さくなっています。

表9 「平成4年度生まれの者」と「昭和37年度生まれの者」の年間発育量

性別	年齢区分	身長(cm)				体重(kg)			
		平成4年度生まれの者		昭和37年度生まれの者		平成4年度生まれの者		昭和37年度生まれの者	
男子	6歳(小1)～7歳(小2)	6.2		5.3		2.6		2.1	
	7歳(小2)～8歳(小3)	5.9		5.1		3.8		2.5	
	8歳(小3)～9歳(小4)	5.2	35.8	6.3	34.4	2.9	22.4	3.8	20.2
	9歳(小4)～10歳(小5)	5.0		5.3		3.6		3.5	
	10歳(小5)～11歳(小6)	6.6		5.5		4.8		3.3	
	11歳(小6)～12歳(中1)	6.9		6.9		4.7		5.0	
	12歳(中1)～13歳(中2)	7.3		7.8		5.3		6.1	
	13歳(中2)～14歳(中3)	5.6		6.3		4.8		5.4	
	14歳(中3)～15歳(高1)	3.4	19.2	4.0	21.6	4.8	18.4	4.9	21.4
	15歳(高1)～16歳(高2)	1.7		2.5		1.6		3.1	
	16歳(高2)～17歳(高3)	1.2		1.0		1.9		1.9	
11年間の総発育量		55.0		56.0		40.8		41.6	
年間発育量の最も大きい年齢		12歳～13歳		12歳～13歳		12歳～13歳		13歳～14歳	
女子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.8		6.8		2.8		2.4	
	7歳(小2)～8歳(小3)	5.0		3.8		2.5		2.3	
	8歳(小3)～9歳(小4)	6.9	36.0	7.0	36.2	3.9	22.5	3.7	22.3
	9歳(小4)～10歳(小5)	5.7		4.9		3.6		3.9	
	10歳(小5)～11歳(小6)	7.1		8.0		4.8		4.6	
	11歳(小6)～12歳(中1)	5.5		5.7		4.9		5.4	
	12歳(中1)～13歳(中2)	3.5		3.8		3.7		4.4	
	13歳(中2)～14歳(中3)	1.4		2.3		2.8		3.1	
	14歳(中3)～15歳(高1)	0.6	6.2	0.7	7.6	1.9	9.3	1.7	11.5
	15歳(高1)～16歳(高2)	0.5		0.7		1.1		1.8	
	16歳(高2)～17歳(高3)	0.2		0.1		0.2		0.5	
11年間の総発育量		42.2		43.8		31.8		33.8	
年間発育量の最も大きい年齢		10歳～11歳		10歳～11歳		11歳～12歳		11歳～12歳	

(注) ・年間発育量は、たとえば平成4年度生まれの者の「6～7歳」の年間発育量は、平成12年度調査の7歳の体格から平成11年度調査の6歳の体格を引いたものです。

・11年間の総発育量は、6歳から17歳になるまでの発育量の合計です。

・平成4年度生まれの者とは、平成4年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた者で、平成11年度調査の6歳、平成22年度調査の17歳です。

・昭和37年度生まれの者とは、昭和37年4月2日から昭和38年4月1日までに生まれた者で、昭和44年度調査の6歳、昭和55年度調査の17歳です。